

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 2月 8日				
放課後等デイサービス みのり						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		・定員に達していないため余裕があると言える。 ・古民家のため一部屋一部屋が狭い ・学習室の方が暖かく、みんながその場に集まってしまうと狭く感じる事もある。 ・機能訓練室のドアの開け閉め、ドアの開きが良くなく、室内の見通しが見えない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4		・定員に達していないため、職員の数自体は適切だが、福祉や子育て経験に達しているわけではない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	・学習室のロッカーや机の位置を変更したり、個々のスケジュールボードを作成し、改善しつつある。 ・学習室と分けたことで去年より子供達にもわかりやすくなっている。	・古民家のため、バリアフリーは難しい。 ・絵カードが必要な時にすぐに使用できる環境があるとよい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1	・活動内容に合わせて自由に室内のレイアウトを変えることができる。	・借家の壁のクロスが粉状に落ち、トイレも一か所のみ。 ・床材の汚れが落ちにくくなってしまっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4	・年末に部屋が空き、静養室が使えるようになった。	・部屋があるが、個別の空間として使用する機会はない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	0	4		・PDCAのサイクルが出来ていない。 ・PDCAの（A）が出来ていない。 ・職員間で業務改善に取り組む意識がまだ薄い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		・保護者向け評価表も把握する機会や意識が出来ていない。管理者の方から職員に周知してもらっても良いと思う。 ・年一回の振り返りしかないなので、もう少し行ってもいいと思う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		・職員の意見は全員の意見が通るわけではない。 ・職員同士で意見は言えるが、改善にはつながらないものがある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		・掲示板に表記していることに気づいていなかった。 ・外部評価はやっているのかよくわからない。 ・機会がないように思う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	・全職員が様々な研修を受けれる機会を増やせればと思う。	・職員により、研修に対する意識の差が大きいが実際にはシフトや所諸事情で研修に行かない職員もいる。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・支援プログラムは常に改善していく必要がある。 ・支援プログラムは常に改善していく必要がある。	・公表しているが、予定通りできない事も多い。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・事前にアンケートを記入してもらう等して、より詳細に行っていると思う。	・保護者の意向が強くなってしまう場合もある。 ・作成した人によって文章から背景がわからない時もある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	・職員皆で意見を出せるようにはなってきた。 ・子どもの最善の利益を考慮したい。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		・職員による思いの違いから支援方向が定まらない時がある。 ・計画の内容の理解不足等で好ましい支援が行えていないように思うこともある。 ・今の職員数だけではギリギリのため、計画に沿った支援が行えていない。 ・支援計画をちゃんと覚えられていない職員もいる。療育支援が出来ていないこともある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	・必要に応じて行動観察記録なども行っている。	・限られた環境で実際に一人一人合わせることは難しい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・個別支援計画に反映されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1		・皆で決めるようにはしているが、全員から意見が出ているわけではない。 ・個々で考えている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	2		・新しい取り組みと過去の良さとの兼ね合いが難しい。 ・色々な事を考えているが、なかなか難しい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	2	・全体活動の時間を作り、集団で行うことも取り入れている。	・努力している職員がいるが順調に行えているとは言えない。 ・計画していても実現は難しい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	5	・これからもっと必要になるということを意識していく。	・打ち合わせが通りに行かない時がある。 ・全体活動や送迎などについては決めているが、上手な連携がとれていない時もある。 ・全員に分かるようにきちんと説明できてない部分がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・翌日には振り返りを行っている。	・共有しても覚えきれていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	2	・記録はパソコンで入力している。	・改善に繋がっていない。（PDCAが上手に回っていない）
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	1	4		・振り返り等をして行く中であとづけ的になってしまっている所もある。 ・4つの基本活動を職員が理解しているもの、そうでないものがある。 ・そこまで考えられていない。 ・地区行事の参加等、地域交流の機会を設けていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	3		・代替案を提案出来ずに職員の方でやってしまったりする職員がいる。 ・職員の考えを決めてしまい柔軟な支援が出来ていなかった。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・連携体制を整える努力をしている。 ・学校や他放デイとも連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		・学校との連絡が上手に行かない時がある。
関係	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	3		

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	・3月卒業する児童に対しては行う予定でいる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		・活動する機会がない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	・参加しているがもっと参加できる会議、研修はあると思う。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	・出来事や普段と違う様子などを伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	・ご家族が参加できる研修についてはお知らせしている。 ・昨年、外部の研修に保護者も参加していた。今後そういった機会があれば保護者に周知していきたい。	・家族支援の支援の難しさがある。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	2		・子供ということもあり本人の意思が尊重されているのかかわからない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	2		・虐待、ハラスメントの観点から試験的に監視カメラの設置をしたがまだ上手な活用が見出されていない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		・何かしらの経験を重ねているが、現場での経験が不足しているため難しいことがある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	・行事の際に兄弟やご家族で参加できる体制を取っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	2		・適切な対応と考えると判断基準が難しい。 ・苦情は上がって来ていない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2		・HPは活用しているがSNSは活用できていない。 ・HPやSNSをもっと活用していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1		・十分とは言えない。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	・配慮はされている。	・事案の結果を保護者に情報伝達しているが、そこまでの過程の報告がされていない。
非 常 時 等	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		・隣近所に挨拶はしているが招致はしていない。 ・全くできていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	4		・周知しているが訓練が出来ていない。 ・第三者に委ねても良いのかもしれない。 ・マニュアルはあるが、ご家族に周知されていない。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	2	・マニュアルの読み合わせが出来た。	・定期的な訓練が出来ていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	・インテークシートや基本情報を参考にしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・同上	
非 常 時 等	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	・直接的な事故やケガはないが、今以上に安全管理を意識する必要がある。	・研修はされているが訓練ができていない。

の 対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2	・家族と意思疎通を図っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		・ヒヤリハット報告はしているが、検討した内容が生かされていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	3		・疑わしき例が報告出来ていない。 ・まだ全職員が外部研修の受講が出来ていない。 ・虐待に対する考え方が違いがあり研修を行っても適切な対応なのか判断が難しい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	3		・どこまでが身体拘束として捉えるのが難しい。